

これまでの取組

現行の「長野県スポーツ推進計画（H25～29）」では、「スポーツが変える ～人・暮らし・地域・未来～」を基本理念に掲げ、6つの基本目標のもと様々な施策に取り組んできました。その主な取組と成果を示します。

基本目標 1	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
--------	------------------------

<実施状況>

（1）幼児期からの子どもの体力向上方策の推進

- 長野県版運動プログラム*の普及
 - ・長野県版運動プログラムのDVD作成
- 幼児期からの運動の習慣化
 - ・キッズ運動遊びどこでもゼミナール*等実技講習会の開催
- 学校における体力向上に向けた取組の定着化と促進
 - ・ながのスポーツスタジアム*の実施
- 指導者研修の実施
 - ・長野県版運動プログラム普及講座等の実施
- 先進好事例の市町村への普及定着支援
 - ・市町村の先進事例・好事例を市町村教委へ情報提供

（2）学校の体育に関する活動の充実

- 教員研修の充実
 - ・体罰根絶のための研修等、研修の機会拡大と参加呼びかけ
- 安全で充実した武道学習の定着化
 - ・剣道・柔道の研修講座の開設
- 専科教員の配置の検討
 - ・小学校への専科教員の配置には至らなかったが、個々の教員の体育学習の指導力向上を図るため各種講習会・研修講座等を開催
- 運動部活動の適正化推進
 - ・長野県中学生期のスポーツ活動指針*の策定
- 外部指導者、障がい者スポーツ指導員等の活用
 - ・外部人材による高等学校指導協力派遣事業の実施
- 魅力ある自然体験学習を安全に実施するための研修の充実
 - ・「長野県高校生の冬山・春山登山における安全確保指針*」の策定
 - ・指導者対象講座・学校登山引率教員対象講座等の実施

- 障がいのある児童生徒に対する支援
 - ・個別の指導計画の作成、障がいのない生徒との交流学习推進
- 学校体育施設の充実
 - ・耐震化工事の推進、吊り天井等の落下防止対策の実施

(3) 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

- 子どものスポーツ環境の充実
 - ・キッズ運動遊びどこでもゼミナール等の実施
- 障がいのある子どもが運動をする機会の充実
 - ・障がい者スポーツ指導員養成事業、障がい者スポーツ研修会等の実施

<達成目標の状況>

達成目標	基準値	目標値	実績値	達成状況
体力合計点*	49.1 点 (H22 年度)	51 点台	50.4 点 (H29 年度)	未達成
体力合計点の全国順位	31 位 (H22 年度)	10 位台	23 位 (H29 年度)	未達成

基本目標 2

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

<実施状況>

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進

- 身近なところでスポーツに親しめる環境の整備
 - ・総合型地域スポーツクラブ*の育成・支援
 - ・信州チャレンジスポーツ DAY*等のスポーツイベントを実施
 - ・地域スポーツの新たなプラットフォーム形成支援事業*の実施
- スポーツボランティア等の活動機会の促進
 - ・スポーツ課 HP でスポーツイベント開催情報を周知
- 障がい者の自主的なスポーツ活動の支援
 - ・各種障がい者スポーツ教室・イベントの実施
 - ・県障がい者スポーツ推進会議の設置

(2) スポーツにおける安全の確保

- 指導者や施設管理者、競技に対する専門的知識の普及・啓発
 - ・県体協で体力向上・医科学専門委員会の実施
- AED の活用
 - ・市町村へ AED マップへの登録・活用の推進
 - ・スポーツイベント等への AED 貸出
- 山岳遭難防止対策の充実
 - ・山岳ヘルメット着用奨励山域の設定
 - ・長野県登山安全条例*の制定

<達成目標の状況>

達成目標		基準値	目標値	実績値	達成状況
運動・スポーツ実施率	週 1 回以上実施	48.3% (H24 年度)	65%	49.3% (H28 年度)	達成困難見込
	週 3 回以上実施	27.9% (H24 年度)	30%	27.4% (H28 年度)	達成困難見込
	1 年に一度もしない	10.3% (H24 年度)	0 に近づける	11.6% (H28 年度)	達成困難見込
障がい者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数		14,731 人 (H23 年度)	17,700 人	16,933 人 (H28 年度)	達成見込

＜実施状況＞

(1) コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進

- 地域スポーツ活動を支える多様な主体の連携支援
 - ・市町村と総合型地域スポーツクラブの連携支援・マッチング
- 総合型地域スポーツクラブの育成支援と安定運営に向けての支援
 - ・市町村と総合型地域スポーツクラブの連携支援・マッチングを通じた委託業務等の受注機会の創出

(2) 地域のスポーツ指導者等の充実

- 地域のスポーツ指導者の育成
 - ・長野県広域スポーツセンター*指導者派遣事業の実施
- スポーツ推進委員*の活動支援
 - ・長野県スポーツ推進協議会事務局として各種会議の開催
- 有資格指導者育成の推進と有効な活用方策の研究
 - ・アドバイザー養成講習会の開催
- 指導者の相互派遣等クラブ間の連携強化
 - ・総合型クラブ連絡協議会の実施
- アシスタントマネジャー*資格取得の促進
 - ・アシスタントマネジャー養成講習会の開催
- 指導者が指導に専念できる雇用環境の研究
 - ・総合型クラブ連絡協議会で情報交換・共有

(3) 地域スポーツ施設の充実

- 誰もが安全・快適に利用できるスポーツ施設の整備
 - ・施設のバリアフリー化等の働きかけ
- 県営スポーツ施設の適切な維持管理
 - ・修繕・改修工事の優先度評価制度等を活用し、計画的に施設修繕を実施
 - ・白馬ジャンプ競技場の改修
 - ・伊那運動公園野球場の改修及び伊那市への移管
- 武道を振興するための施設の検討
 - ・県立武道館*基本構想の策定
- 施設の有効かつ効率的な活用
 - ・学校体育施設等の一般開放の推進
- スポーツ施設の整備及び運営面での工夫
 - ・スキー（ノルディック複合）のナショナルトレーニングセンター*に白馬ジャンプ競技場及び白

馬クロスカントリー競技場（白馬村）が指定

- ・民間資金（スポーツ振興くじ（toto））を活用した施設改修の実施

○障がい者スポーツへの理解促進

- ・障がい者スポーツ情報の発信（メルマガ）
- ・「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル*（東京都）」の情報提供、活用促進

（４）地域スポーツと企業・大学との連携

○人的・物的資源の活用

- ・総合型クラブ連絡協議会等で好事例の紹介・情報提供

<達成目標の状況>

達成目標	基準値	目標値	実績値	達成状況
総合型地域スポーツクラブの加入者数	17,050 人 (H24 年度)	25,000 人	20,080 人 (H28 年度)	達成困難見込

基本目標 4

競技力の向上に向けた選手強化、指導者養成の推進

<実施状況>

(1) 選手の育成強化、指導者養成による競技力向上

- オリンピック・パラリンピック等の国際舞台や国民体育大会等の全国規模の大会で活躍できる選手の育成強化
 - ・オリンピック育成支援事業、SWAN プロジェクト*の実施
- 一貫指導体制の充実
 - ・競技力向上専門委員会において好事例等の情報共有や課題解決の検討
- 指導者養成の取組への支援
 - ・指導者講習会、トップ指導者ミーティング等の開催
- 国民体育大会等の意義や競技結果の発信
 - ・スポーツ課 facebook、県体協だより等を活用した情報発信
- 競技者へのマルチサポートの推進
 - ・各競技団体へのスポーツ医・科学サポートチームの派遣

(2) ジュニア選手特別強化の取組

- 子どもたちがスポーツに夢を持てる選手との交流推進
 - ・各プロスポーツチームが主体となり、地域との交流イベント・スポーツ教室等を開催
- ジュニア選手の発掘・育成の推進
 - ・オリンピック育成支援事業、SWAN プロジェクトの実施

(3) 本県での開催が予定される全国大会に向けた選手強化

- 競技団体・学校体育団体の一体となった強化
 - ・本県開催の種目に対し、各団体と一体となった強化事業を実施

(4) ながの銀嶺国体の開催と選手特別強化事業の実施

<達成目標の状況>

達成目標		基準値	目標値	実績値	達成状況
国民体育大会	男女総合（天皇杯）順位	17位 (H24年)	15位以内	18位 (H29年)	未達成
	冬季大会順位	2位 (H24年)	1位	1位 (H29年)	達成
	本大会順位	38位 (H24年)	20位台	45位 (H29年)	未達成

国民体育大会（少年）・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の入賞者数	174人・団体 (H24年度)	200人・団体	218人・団体 (H29年度)	達成
平昌冬季オリンピック（H30.2）でSWANからメダリスト輩出	—	1人以上	0人	未達成

基本目標 5	スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進
--------	---

<実施状況>

(1) トップスポーツと地域における連携・協働の推進

- トップレベルの選手が活躍する場の創出
 - ・トップアスリート派遣事業の実施
 - ・長野県広域スポーツセンター指導者派遣事業の実施
- ジュニア期における適切な支援
 - ・競技力向上専門委員会での指導者研修の実施

(2) 地域スポーツと企業・大学との連携

- 選手が県内にとどまり競技生活を継続できる仕組みづくり
 - ・県内企業・学校へ選手の競技活動のための環境整備について要請
 - ・アスリートの県内への就職支援の取組
- 大学との連携方策の検討
 - ・総合型クラブ連絡協議会、松本大学及び県体育センターの三者で締結した「長野県総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業の連携・推進に関する連携協定*」に基づいた人材育成等の取組

基本目標 6	多面にわたるスポーツの果たす役割の活用
--------	---------------------

<実施状況>

(1) スポーツによる地域の一体感や活力の醸成

- 競技団体との連携と「スポーツの持つチカラ」の継続的な発信
 - ・スポーツ課のHP・facebook等を活用した情報発信
- 「スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定」に基づく連携事業の推進
 - ・県内プロスポーツチームと連携した各種啓発活動等の実施
 - ・銀座NAGANOを活用したスポーツイベント等を実施
- 身近で共に取り組めるスポーツの普及
 - ・ニュースポーツ*の普及・拡大

(2) 県内のスポーツ資源を活用した交流と地域の活性化

- スポーツと地域の資源を活用した地域の活性化
 - ・長野県スポーツコミッション*の設立、スポーツ大会・合宿の誘致推進
- スポーツの視点からのアプローチによる誘客促進等

- ・信州“familystyle”を各種媒体を通じてPR
- ・県内小学生にスキーリフト優待券付きパンフレットを配布
- 国際競技大会や国民体育大会等の誘致を通じた地域経済の活性化
 - ・ながの銀嶺国体(H28)・ノルディックコンバインドワールドカップ(H29)・全国中学校スケート大会(H19～)・全国レクリエーション大会(H27)等を開催

(3) スポーツを通じた健康で活力に満ちた健康長寿社会の実現

- 青壮年期のスポーツ活動の促進
 - ・信州 ACE プロジェクト*（健康づくり県民運動）の推進
 - ・効果的なウォーキング・地域のオリジナル体操の普及等
- 高齢者が無理なく身体活動に取り組めるスポーツ機会の拡充
 - ・県長寿社会開発センターと連携し、信州ねんりんピックスポーツ交流大会*の実施
 - ・長野県版身体活動ガイドライン「ずくだすガイド*」の作成・活用

